

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
模範解答		

【物語を読んで答える問題】

1 次の文を読んで、あとの問題に答えましょう。

（※川の中の魚の子供と母親の様子があがられている場面です。）

花は、水の上に浮かんで、流れ流れてゆきました。しかし、後から、後から、花がこぼれ落ちてきました。

「どんなに、おいしかろう。」といって、三びきの魚の子供は、ついにその花びらをのんでしまいました。

その子供らの母親は、その翌日、我が子の姿を見て、さめざめと泣いたのです。「あれほど、花びらをたべてはいけないといったのに。」といいました。

黒い子供の体は、いつのまにか、二ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になっていたので、黒い子供は、いつのまにか、二ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になっていたので、黒い子供は、いつのまにか、二ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になっていたので、黒い子供は、いつのまにか、二ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になってい

【中略】

（※町の人間の子供と母親の様子があがられている場面です。）

町では、子供たちの母親が心配いたしました。

「どうして、そう毎日川へばかりゆくのだえ。」と、子供たちをわかりました。

「だって、赤い魚がいるんですもの。」と、子供は答えました。

「ああ、昔から、あの川には赤い魚がいるんですよ。しかし、それを捕らえるとよくないことがあるというから、けっして、川などへいってはいけません。」と、母親はいいました。子供たちは、母親がいったことをほんとうにしませんでした。どうかして、赤い魚を捕まえたものだど、毎日、川のふちへきてはうろついていました。

（出典 小川 未明 「赤い魚と子供」）

（1） _____ アの「それ」とは何のことですか。三字で書きぬきましょう。レベル6

「それ」の前にある言葉をさがします。捕らえるものは「赤い魚」であることがわかります。

赤
い
魚

(2) ———— イの後、子供たちがどうしたのかをまとめた文の□に当てはまる言葉を文中からさがし、それぞれ四字で書きぬきましょう。レベル6

母親が言ったことを

ほ ん と う

にはせず、赤い魚を捕まえるために

川

の

ふ

ち

をうろついた。

——— イの後の子供たちの様子を読みとります。

・子供たちは、母親がいったことをほんとうにしませんでした。

・(子供たちは) どうにかして、赤い魚を捕まえたものだど、毎日、

川のふちへきてはうろついています。

——— という内容から、□に合うように言葉を書きぬきます。

(3) さめざめと泣いたのです。の理由として、もつともふさわしいものを次の1～4の中から一つえらびましょう。レベル6

- 1 子供の魚の色が変わってしまったから。
- 2 赤色や白と赤の斑色の花が流れてきたから。
- 3 子供の魚が、病気になってしまったから。
- 4 三匹の子供のうち、一匹がいなくなってしまうから。



1

理由をたずねる問題です。理由を表すときには、「～から」「～ので」「～ため」などの言葉を使って書かれることが多くあります。この文章中では、「黒い子供の体は、いつのまにか、二ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になっていたので。」とあり、子供の魚の色が変わってしまったことが理由だとわかります。